

2026年4月14日

株 主 各 位

岐阜県岐阜市長良福光2070番地7
株式会社岐阜フットボールクラブ
代表取締役 小松 裕志

第20期定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第20期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご欠席の場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記「株主総会参考資料」をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2026年4月27日（月曜日）午後6時までに当社に到着するよう、返送いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日時 2026年4月28日（火曜日）午後4時00分
2. 開催場所 岐阜県岐阜市長良福光2070番地7
長良川スポーツプラザ 2階 大会議室
3. 会議の目的事項
報告事項
報告1 第20期（2025年2月1日から2026年1月31日まで）
事業の内容報告の件
決議事項
第1号議案 第20期計算書類等承認の件
第2号議案 定款一部変更の件（決算期変更）
第3号議案 定款一部変更の件（取締役任期変更）
第4号議案 取締役の報酬の件
第5号議案 取締役5名選任の件

議案の概要については、後記参考資料に記載のとおりであります。

4. 招集にあたっての注記

定款の規定により、代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する株主の方に委任するに限られます。なお、代理人は1名とさせていただきます。

以 上

（お願い） 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

事業報告

〔 令和 7年2月 1日から
令和 8年1月31日まで 〕

(1) 事業の経過およびその成果

2025年は、大阪・関西万博の開催、高市氏の日本初の女性首相就任、トランプ大統領の再就任とそれに伴う関税問題、さらには世界的な食糧危機やクマ被害の多発など、国内外で多岐にわたる出来事がありました。また、スポーツ界では米大リーグ（MLB）のロサンゼルス・ドジャースは今季、大谷翔平と山本由伸に加え、佐々木朗希などの日本選手の活躍でドジャース2連覇を果たし、東京では世界陸上が開催されるなど多くの日本人選手が活躍しました。

サッカー界では森保一監督率いるサッカー日本代表「サムライブルー」が10月14日に東京スタジアムで強豪ブラジル代表と国際親善試合を行い、3-2で勝利し、14度目の対戦で歴史的な念願の初勝利を挙げました。

J1リーグの優勝争いは、最終節までもつれ込み鹿島アントラーズが制し、9年ぶり9度目のJ1リーグ優勝を達成しました。

J2リーグでは、最終節で優勝、自動昇格、J1昇格プレーオフを巡る戦いが劇的な展開で決着し、水戸ホーリーホックが初のタイトルを獲得しました。J3リーグでは、初優勝の栃木シティ、2位のヴァンラーレ八戸が、共に初のJ2へ昇格を決めました。栃木シティは、日本フットボールリーグ（JFL）から昇格後、わずか1年でJ3の栄冠を手にしました。ヴァンラーレ八戸はリーグ戦で最少失点の堅守を基盤に、シーズンの大部分で安定した戦いを見せました。J2昇格プレーオフはリーグ戦4位のテゲバジャーロ宮崎が勝ち上がり、2026シーズンは初めてJ2で戦うことになりました。

FC岐阜は昨シーズンの天野監督に代わり、Jリーグでの指導経験が豊富な大島康明氏を監督に迎え2025シーズンに臨みました。

しかし当初から思うように攻守がかみ合わず、第6節に20位となり、そこからなかなか勝ち点が取れず非常に苦しい時期を迎えました。クラブは最悪の事態であるJFL降格を回避するため7月に苦渋の決断をし、大島監督に代わり石丸清隆氏に指揮を託しました。序盤はチーム改革に時間がかかりましたが、徐々にチームが一体となり8月30日からクラブ新記録となる怒涛の7連勝を達成し、西谷選手が2025明治安田J3リーグ9月度「月間ヤングプレーヤー賞」と「2025J3リーグ優秀選手賞」を受賞するなど大活躍もあり、最終的には13勝8分17敗、第13位でJ3リーグ残留を果たし、シーズンを終えることになりました。

運営面では、これまで以上にパートナー企業様によるサンクスマッチイベントの開催、42市町村様によるホームタウンデーへのご協力、またFC岐阜パフォーマンスチームGGGやグリーンエンジェルスなどの活動、県内各地のメニューが豊富な屋台村、更に

は筆頭株主である藤澤様の継続的なご支援でアイドルグループSKE48によるイベントなどでスタジアムを大いに盛り上げていただきました。年間ホームゲーム数19試合のうち7回が陸上競技大会との併催という集客が厳しい状況ながらも観客数は昨年平均4,684名から平均4,773名と微増となりました。これもひとえに株主、ファン・サポーター、パートナー、42市町村、商工会議所、応援して下さる全ての皆様の熱いご支援ご声援によるもので、心から厚く御礼申し上げます。

アカデミーではU-18の山川弘飛選手がクラブ創設以来初となる年代別日本代表に選ばれるという大きなニュースが入りました。またU-14からもナショナルトレセンで4名の選手が選出されるなど将来有望な選手が出てきています。

スクール（小学生）は、コーチの異動等があり生徒数が515名となりましたが、過去最高の約130名の入会がありました。2026シーズンは各スクール会場やコース内容の見直しを行い560名の会員獲得を目指し積極的に活動していきます。

収入面では協賛社数が46社増17社減で純増29社となり360社となりました。一方で広告料収入額が493百万円昨対比98%、5百万円の減となりました。これは社名看板などの掲出（広告料収入）ではなく弊社の地域貢献活動などにご協賛いただいた結果、別の売上区分に入ったためです。グッズ販売収入については笠松競馬場出身である名馬オグリキャップとコラボしたユニフォームの販売が好調で、ユニフォーム全体の販売数が歴代2位の2,507枚となりました。またオンライン販売による選手のヒーローグッズも好調で、2期連続で1億円を超えました。売上は過去最高額の109百万円（昨対比106%）を達成しました。

また大きなイベントとして12月には元日本代表で弊クラブに所属していた柏木選手の引退試合を行いました。普段見られない日本を代表する有名選手が岐阜に集まり15,000人を超える観客が日本全国から集まり、Jリーグで大きな話題となりました。

売上全体では、997百万円（前年比98%）となりました。前期の1,000百万円超からは微減ですが、これは選手移籍金収入が約23百万円減少したことによるもので、経営上の大きな懸念点ではありません。

一方、支出面では来期以降を見据えたトップチームの選手補強に注力した結果、チーム経費が前年比113%（54百万円増）となり、売上原価全体は902百万円（前年比110%）となりました。

会社としての最終損益は、昨年の32百万円の最終利益に対し、来期以降を見越した選手の大型補強費用などにより65百万円の最終損失で着地しました。

主な収入、費用の状況は下記のとおりです。

興行収入

年間ホームゲーム数19試合のうち7回が陸上競技との併催という集客が厳しい状況ながらも観客数は昨年の平均4,684名から平均4,773名（J3リーグ第6位）となり、興行収入は昨対比119%、25百万円の大幅増となりました。

広告料収入

協賛社数は46増17減で純増29社となり360社に増加しました。なお、広告料収入としては493百万円で昨対比98%、5百万円微減となりましたが、地域貢献活動等への協賛によるものです。今後も「オール岐阜」での営業体制を広げていきます。

グッズ販売収入

売上高は昨年、過去最高額の1億円超の103百万円を記録しましたが、昨対比で6百万円増での106%の増収となりました。結果2期連続1億円超となり過去最高を4年連続で更新することができました。

Jリーグ分配金

Jリーグからの分配金は、前年比約2百万増となり25百万円となりました。

トップチーム経費

JFLへの降格を避けるため、監督の交代と大型補強を行い実績474百万円となり、前年比54百万円の増加となりました。

(2) 設備投資等の状況

該当事項はございません。

(3) 資金調達の状況

該当事項はございません。

(4) 対処すべき課題

トップチームについては引き続きスポーツダイレクターに竹元義幸氏を、監督は昨年ラブを7連勝に導き、チーム成績をV字回復させた石丸清隆氏に指揮していただきます。監督を支えるのは2023シーズンに監督としてチームを率いリーグ屈指の堅守を築いた上野優作氏をヘッドコーチとして招き、万全の体制で監督を支えます。選手陣についてはジュビロ磐田より中村駿選手、FC琉球からウッド モハメッド サディキ選手、清水エスパルスから羽田健人選手など新たに10名の選手が加わりました。監督のもと既存の選手と融合し「FC岐阜のサッカー」を構築し百年構想リーグの優勝を狙い

ます。

アカデミーではU-18から山川弘飛選手がクラブ創設以来初となる年代別日本代表に選ばれましたが一方で、引き続きの課題としてアカデミーが優先的に使用できる人工芝+夜間照明付きのグラウンド環境整備に向けて、各市町村、関係機関・パートナー企業と連携してグラウンド整備できるよう今後も全力で取組みを進めて参ります。

経営面ではこの第20期に、前期の黒字を使いJ3リーグ残留の為にチーム強化に費やしました。百年構想リーグ後には3期赤字連続によるJリーグライセンスはく奪ルールが再開されます。経営の安定化を図り、売上高の最大化、原価の見直しを含め黒字体質を継続させることが経営課題であると認識しています。

(5) 総括

FC岐阜は『私たちは「人づくり」「街づくり」「夢づくり」に貢献し、岐阜で一番愛される集団を目指します』のミッションに沿って、株主、ファン、サポーター、スポンサー、42市町村、その他大勢のステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう、今後も積極的に活動して参ります。

FC岐阜はトップチームだけではなく若い育成世代に目を向け、2026年3月8日ベルギー・プロリーグ所属クラブとアカデミー育成体制の強化に向けた国際的な連携を開始することとなりました。本取り組みは、FC岐阜が掲げる「育成を強化し、長期的に再現性のある育成体制をクラブとして構築する」という方針のもと、欧州トップレベルの育成クラブとの連携を戦略的に検討してきた中で実現したものです。

今回の連携では、KRC Genkが提供するアカデミー支援プログラム「KRC Genk Talent Solutions」を通じて、同クラブが培ってきた育成メソッドやアカデミー運営の知見を参考にしながら、FC岐阜アカデミーの育成体制および育成環境のさらなる強化を図るとともに、地域に根ざした持続的な育成モデルの構築を目指していきます。

トップチームは11名の選手が抜け、10名の新規加入選手を迎え計31名のメンバーで石丸監督、コーチ陣とスタッフのもと1戦1戦全力で勝利目指して戦って参ります。

2026シーズンのチームスローガンは新たに『Aim High』(エイムハイ)としました。目の前の勝利だけでなく、クラブとして、常に高い理想を目指し続けるという強い意思を込めています。選手はピッチで限界に挑み、スタッフはクラブの価値を高め、ファン・サポーター、そして地域の皆さまと共に、これまで以上の景色を見に行く。簡単な道ではありませんが、高みを目指すからこそ成長があり、感動があります。FC岐阜は、岐阜の誇りとして、胸を張って前へ進んでいきます。

今シーズンもJリーグ初の特別大会である百年構想リーグを大勢の皆様のご来場と多くの企業の皆様にご協賛いただけるようチーム一丸となって戦いますので、今後とも皆様のご支援・ご声援のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

(6) 財産および損益の状況の推移

期別 項目	第17期	第18期	第19期	第20期
	令和 4年2月1日～ 令和 5年1月31日	令和 5年2月1日～ 令和 6年1月31日	令和 6年2月1日～ 令和 7年1月31日	令和 7年2月1日～ 令和 8年1月31日
営業収入(千円)	877,170	904,701	1,009,567	997,899
売上総利益 または損失(▲) (千円)	15,742	90,054	195,068	95,485
営業利益 または損失(▲) (千円)	▲133,219	▲69,626	27,879	▲65,824
経常利益 または損失(▲) (千円)	▲132,125	▲67,519	32,906	▲64,681
当期純利益 または損失(▲) (千円)	▲132,429	▲67,830	32,596	▲65,081
1株当たり当期純利益 または損失(▲)	▲10,269円2銭	▲4,592円43銭	2,206円96銭	▲4,406円30銭
総資産(千円)	479,463	429,643	483,183	281,055
純資産(千円)	165,103	97,273	129,870	64,789
1株当たり純資産	11,178円31銭	6,585円87銭	8,792円84銭	4,386円54銭

(注) 1株当たり当期純利益または損失は期中平均株式数により算出しております。

1株当たり純資産は期末発行済株式数により算出しております。

(7) 重要な親会社および子会社の状況

該当事項はございません。

(8) 主要な事業内容(令和8年1月31日現在)

プロサッカー試合の開催・運営業務

(9) 主要な事業所(令和8年1月31日現在)

岐阜市長良福光2070番地7

(10) 従業員の状況（令和8年1月31日現在）

従業員数（名）	（前期末比増減）
19	（-1）

（注）上記の員数には、他からの出向者3名は含まれておりません。

(11) その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はございません。

2 会社の株式に関する事項（令和8年1月31日現在）

(1) 発行可能株式総数

発行可能株式総数	37,200株
普通株式	35,700株
A種類株式	1,500株

(2) 発行済株式の総数

発行済株式の総数	14,770株
普通株式	14,010株
A種類株式	760株

(3) 株主数

普通株式	105名
A種類株式	1名

(4) 大株主（上位10名 令和8年1月31日現在）

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種類株式	合計	
			株	%
藤澤信義	9,000	—	9,000	60.93
FC岐阜個人持株会	—	760	760	5.15
岐阜県	400	—	400	2.71
岐阜市	400	—	400	2.71
ドルフィン株式会社	220	—	220	1.49
名古屋テレビ放送株式会社	200	—	200	1.35
株式会社十六銀行	200	—	200	1.35
名進研ホールディングス株式会社	200	—	200	1.35
株式会社コパン	200	—	200	1.35
吉田勝利	120	—	120	0.81

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はございません。

3 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はございません。

4 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の状況（令和8年1月31日現在）

地位	氏名	重要な兼務の状況
代表取締役	小松裕志	—
取締役	藤澤信義	Jトラスト株式会社 代表取締役社長最高執行役員
取締役	宮田博之	—
取締役	竹元義幸	—
社外取締役	近藤浩	株式会社文化社 代表取締役会長
社外取締役	松岡明隆	名古屋テレビ放送株式会社 岐阜支社長
社外取締役	小田学	株式会社ヒマラヤ 代表取締役社長 兼 CEO
社外監査役	森進一	岐阜県サッカー協会 副会長

貸借対照表

(令和8年1月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	275,959	【流動負債】	141,245
現金預金	213,047	買掛金	54,634
売掛金	30,564	一年内返済予定の長期借入金	11,580
商品	20,230	未払費用	8,172
貯蔵品	1,101	未払法人税等	303
立替金	260	預り金	4,460
前払費用	2,490	前受収益	62,095
未収入金	900	【固定負債】	75,020
未収消費税等	7,547	長期借入金	75,020
貸倒引当金	▲183		
【固定資産】	5,095	負債合計	216,265
【有形固定資産】	4,161	純資産の部	
建物附属設備	386	【株主資本】	64,789
車両運搬具	1,662	【資本金】	50,000
工具器具備品	2,112	【資本剰余金】	688,500
【無形固定資産】	0	資本準備金	368,250
ソフトウェア	0	その他資本剰余金	320,250
【投資その他の資産】	934	【利益剰余金】	▲673,710
敷金	840	その他利益剰余金	▲673,710
預託金	84	繰越利益剰余金	▲673,710
出資金	10	純資産合計	64,789
資産合計	281,055	負債・純資産合計	281,055

損 益 計 算 書

〔 令和 7年2月 1日から 〕
〔 令和 8年1月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
【 営 業 収 入 】		997,899
【 営 業 原 価 】		902,414
売 上 総 利 益		95,485
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		161,309
営 業 損 失		▲65,824
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	633	
受 取 配 当 金	0	
為 替 差 益	36	
雑 収 入	2,133	2,802
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	1,064	
為 替 差 損	35	
雑 損 失	558	1,658
経 常 損 失		▲64,681
税 引 前 当 期 純 損 失		▲64,681
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		309
当 期 純 損 失		▲65,081

株主資本等変動計算書

〔 令和 7年2月 1日から
令和 8年1月31日まで 〕

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本 合計	純資産 合計
		資本 準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	50,000	368,250	320,250	688,500	▲608,629	▲608,629	129,870	129,870
当期変動額								
当期純損失					▲65,081	▲65,081	▲65,081	▲65,081
当期変動額合計	-	-	-	-	▲65,081	▲65,081	▲65,081	▲65,081
当期末残高	50,000	368,250	320,250	688,500	▲673,710	▲673,710	64,789	64,789

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

商品、貯蔵品…最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産…定率法によっております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備は定額法によって償却を行っています。

主な耐用年数は以下のとおりです。

建物附属設備	15年
車両運搬具	2～6年
工具器具備品	3～6年

- ②無形固定資産…定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金…債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法に定める法定繰入率により計上する他、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客と契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

①広告料収入

スポンサー契約については、契約期間にわたり収益を認識しております。

②興行収入

ホームゲームの入場チケットの販売については、ホームゲーム開催日に収益を認識しております。

③Jリーグ分配金収入

Jリーグからの分配金については、分配金額が確定した時点で収益を認識しております。

④アカデミー関連収入

アカデミー関連収入についてはサービスの提供を行った時点で収益を認識しております。

⑤グッズ販売収入

グッズの販売については、販売を行った時点で収益を認識しております。

⑥その他の収入

その他の収入については、サービスの提供を行った時点で収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

②リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方式に準じた会計処理によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 53,770 千円

3. 収益認識に関する注記

(1) 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

重要な会計方針「(4) 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類および株式数

普通株式	14,010 株
A種類株式	760 株

5. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移外ファイナンス・リース契約により使用しております。

6. 関連当事者との取引に関する注記

種類：その他の会社

会社等の名称：(株)ヴァンラーレ八戸

議決権等の所有（被所有）割合：なし 関連当事者との関係：なし

取引の内容：選手の移籍による未収金

取引金額：909 千円 科目：売掛金 期末残高：1,000 千円

7. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	4,386 円 54 銭
1株当たり当期純損失	▲4,406 円 30 銭

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

(注) 本計算書類中の記載金額については、表示単位未満の端数を切り捨てております。

監 査 報 告 書

私は、令和7年2月1日から令和8年1月31日までの第20期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、監査役就任後、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等から第20期事業年度のその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和8年4月8日

株式会社岐阜フットボールクラブ
社外監査役 森 進 一 印

株主総会参考資料

議案および参考事項

第1号議案 第20期計算書類承認の件

議案の内容につきましては、8頁から12頁に記載のとおりであります。

取締役会としましては、本議案内容を法令または定款に従い、適法かつ適切と判断しております。なお、監査役の監査報告書は、13頁に記載のとおりであります。

第2号議案 定款一部変更の件（決算期変更）

Jリーグのシーズン移行に伴い当社の決算期も是に合わせ、他クラブとの比較や決算の透明性を確保致します。具体的には定款第40条を以下の通りに変更したいと考えております。

※変更前

（事業年度）

第40条 当社の事業年度は、毎年2月1日から翌年1月31日までの年1期とする。

※変更後

（事業年度）

第40条 当社の事業年度は、毎年7月1日から翌年6月30日までの年1期とする。

尚、第21期については令和8年2月1日から令和8年6月30日とさせていただきます。

第3号議案 定款一部変更の件（取締役任期変更）

外部環境の急激な変化に即座に対応できるよう、また専門分野に長けたに人材の入れ替えを柔軟に活発にするため取締役の任期を短くしたいと考えております。

具体的には定款第27条を以下の通りに変更したいと考えております。

※変更前

（取締役の任期）

第27条 取締役の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。

※変更後

第27条 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。

第4号議案 取締役の報酬の件

当社定款第33条の定めに従い、取締役の報酬等の総額を20百万円以内から100百万円以内とさせて頂きたく承認をお願いするものであります。

第5号議案 取締役5名選任の件

本総会の終結の時をもって、取締役全員の任期が満了となり、4名を重任し、新たに1名を新任したくご承認をお願いするものであります。取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位および 他の法人等の代表状況	所有する当 社の株式数
1	小松 裕志 (昭和63年1月26日) 社内取締役候補者 ※重任	平成19年4月 慶応義塾大学 法学部・法律学科入学 平成23年3月 慶応義塾大学 法学部・法律学科卒業 平成23年4月 ゴールドマン・サックス証券株式会社 入社 グローバル・エクイティ営業部配属 平成26年9月 同社マーチャント・バンキング部門 担当 令和2年3月 株式会社スマートエナジー 社外取締役 令和2年3月 I L S株式会社 社外取締役 令和3年3月 Jトラスト株式会社 執行役員 社長室長 株式会社岐阜フットボールクラブ 社長室付ゼネラルマネージャー Jトラスト株式会社 取締役 執行役員 社長室長 令和3年4月 株式会社岐阜フットボールクラブ 取締役 社長室ゼネラルマネージャー 令和3年12月 (株)岐阜フットボールクラブ 代表取締役 (現任)	—
2	藤澤 信義 (昭和45年1月17日) 社内取締役候補者 ※重任	平成20年 Jトラスト株式会社 代表取締役会長 平成22年 同社取締役同社取締役最高顧問 平成23年 同社取締役社長 平成25年 J TRUST ASIA PTE.LTD.代表取締役社長 (現任) (株)岐阜フットボールクラブに200株出資 平成26年 (株)岐阜フットボールクラブに4,800株出資 平成27年 Jトラスト株式会社 代表取締役社長 最高執行役員 令和元年 株式会社 KeyHolder 取締役会長 (現任) 令和2年 Jトラスト株式会社 取締役会長 同社 代表取締役社長最高執行役員 (現任) 令和4年 (株)岐阜フットボールクラブに4,000株出資 エイチ・エス証券株式会社 (現 Jトラストグローバル証券株式会社) 取締役会長 (現任) 株式会社クリア 取締役会長 (現任) 令和5年 株式会社グローバルス 取締役会長 (現任) bijoux 株式会社 取締役 (現任) 令和6年 公立大学法人周南公立大学客員教授 (現任) 令和7年 (株)岐阜フットボールクラブ 取締役 (現任) 令和8年 Jグランド株式会社 (旧社名：日本ファンディング株式会社) 取締役 (現任)	9,000

3	<p>竹元 義幸 (昭和48年10月3日) <u>社内取締役候補者</u> <u>※重任</u></p>	<p>平成15年 サガン鳥栖 U-15 コーチ 平成16年 横浜商科大学高等学校コーチ 平成17年 サガン鳥栖 U-15 監督 平成24年 サガン鳥栖 U-18 監督 平成26年 サガン鳥栖 アカデミーダイレクター 兼 スカウト ※JFA 九州地域ユースダイレクター 兼 トレセンコーチ 平成27年 アビスパ福岡 U-15 コーチ 平成28年 サガン鳥栖 強化育成本部長 平成30年 JFA 九州地域統括ユースダイレクター 兼 トレセンチーフコーチ 平成31年 V・ファーレン長崎 強化担当 令和2年 V・ファーレン長崎 強化部長 令和3年 V・ファーレン長崎 テクニカルダイレクター 令和4年 FC今治 執行役員 ゼネラルマネージャー 令和6年 FC岐阜 スポーツダイレクター (現任) 令和7年 (岐阜県フットボールクラブ 取締役 (現任))</p>	—
4	<p>小田 学 (昭和45年11月15日) <u>社外取締役候補者</u> <u>※重任</u></p>	<p>出生地：米国 ワシントン州 シアトル市 昭和64年 滋賀大学 経済学部 経済学科入学 平成5年 滋賀大学 経済学部 経済学科卒業 平成5年 三菱商事株式会社入社 食材流通部に配属 平成10年 日清製粉株式会社出向 平成12年 三菱商事 食品本部 M&A など食品関連事業プロジェクトを 担当 平成17年 明治屋商事株式会社出向 経営企画部、営業本部等を兼務 平成19年 Princes Limited 出向 Chief Executive Corporate として コーポレート部門 (M&A、品質管理 法務、CSR 管掌など) を管掌。 コンプライアンスオフィサー兼務 令和4年 三菱商事株式会社 食品産業グループ CEO オフィス 事業構想・デジタル戦略担当 令和5年 株式会社ヒマラヤ入社 代表取締役社長兼 CEO (現任) 令和6年 (岐阜県フットボールクラブ 取締役 (現任)) <社外取締役候補に関する特記事項> 1. 社外取締役候補の選任理由について 海外での豊富な知識・経験・人脈を当社の経営に活か していただきたいため。 2. 当社は、社外取締役が期待される役割を十分に発 揮できるように、定款において会社法 427 条第 1 項の</p>	—

		<p>規定により、同法第 423 条第 1 項の賠償責任を限定する契約を締結できる旨を定めており、当該契約に基づく賠償責任限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。</p> <p>小田学氏の選任が承認された場合には、責任限定契約を締結する予定であります。</p>	
5	<p>宮島 武志 (昭和 50 年 4 月 12 日) <u>社内取締役候補者</u> <u>※新任</u></p>	<p>平成 10 年 ヤンマーディーゼル(株)入社 平成 26 年 ヤンマー(株)経営戦略部 企画グループプロジェクトマネジャー 令和元年 ヤンマー(株)社長室企画グループ課長 兼スポーツビジネス室 プロデュースグループ部長 令和 3 年 (株)セレッソ大阪 社長室長 兼わくわくパーククリエイト(株)取締役 兼ヤンマーホールディングス(株)社長室 令和 4 年 (株)セレッソ大阪 取締役副社長 兼わくわくパーククリエイト(株)取締役 兼ヤンマーホールディングス(株)社長室 令和 5 年 (株)セレッソ大阪 代表取締役副社長 兼わくわくパーククリエイト(株)取締役 兼ヤンマーホールディングス(株)社長室 令和 8 年 (株)岐阜フットボールクラブ 社長室室長 (現任)</p>	—

尚、取締役会長の宮田は退任し相談役となり、社外取締役の近藤氏及び松岡氏は退任致します。

以上